

事務事業調書

平成26年度

事業No	295	課	子育て支援課	係	子育て支援係	起案者	谷川裕子
						決裁者	神谷徹
事務事業名	児童クラブ事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 4 児童の健全育成 1 児童クラブ			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		15-10-25	
				総合計画以外の計画		次世代育成支援行動計画	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	児童福祉法第6条の2第2項、安城市児童クラブ規則					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	全小学校区へ整備する					
陳情・市民要望	有	4年生以上の利用					
実施方法	一部委託	委託先	その他(第2種社会福祉事業の届出がなされた団体)				
実施期間	開始	平成04年度	経過	22年目	終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	仕事をしている子どもの親が			~になる	(小学校区内の)児童クラブに子どもを預けることができる。	
事務事業の内容	昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童を対象に、適切な遊び及び生活の場としての児童クラブを設置し、児童の健全育成の向上を図ります。						
改善・対策の履歴	平成23年度に北部第2児童クラブの建設が完了し、北部児童クラブを分割しました。また、中部小学校の旧用務員室を耐震改修し、中部第2児童クラブが完成しました。平成24年度に二本木第1・第2児童クラブ、桜井第2児童クラブが開設しました。平成25年度は、丈山第1・第2児童クラブを建設しました。また、学童保育のシステムをパッケージで導入し、スムーズな事務処理ができるようにしました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	333,359	417,580	418,976	395,495	344,863
財源計	291,149	354,454	350,117	323,675	273,988
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	92,397	87,333	86,620	100,882
	市債	0	0	0	0
	その他()	68,751	69,702	72,344	77,783
	一般財源	130,001	197,419	191,153	145,010
受益者負担金	68,751	69,702	72,344	77,783	79,271
職員人件費 (従事職員数)	42,210 (6.70)	63,126 (10.02)	68,859 (10.93)	71,820 (11.40)	70,875 (11.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	クラブ運営事業	見込	27.00	29.00	29.00	30.00
			実績	27.00	29.00	29.00	
	指標名 (単位)	公立児童クラブ(か所)	活動の総事業費 (千円)	232,934	228,597	270,812	
			活動にかかるコスト (千円)	8,627.19	7,882.66	9,338.34	
活動2	活動名 (活動内容)	維持管理事業	見込	27.00	29.00	29.00	30.00
			実績	27.00	29.00	29.00	
	指標名 (単位)	公立児童クラブ(か所)	活動の総事業費 (千円)	71,238	134,875	91,413	
			活動にかかるコスト (千円)	2,638.44	4,650.86	3,152.17	
活動3	活動名 (活動内容)	民間クラブ委託事業	見込	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績	5.00	5.00	5.00	
	指標名 (単位)	民間児童クラブ(か所)	活動の総事業費 (千円)	26,604	30,609	33,266	
			活動にかかるコスト (千円)	5,320.80	6,121.80	6,653.20	

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	100.00	100.00	100.00	100.00
	公立児童クラブの設置数／目標設置数(%)		実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					
成果2	目標達成年度		目標	0.75	0.75	0.75	0.80
	月平均公立児童クラブ入会児童数／公立児童クラブ定員数(人)		実績	0.84	0.80	0.84	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					

5 成果1、2以外の成果	
成果	・利用児童の大きなケガや事故がなく、安定したクラブ運営ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	・文山第1・第2児童クラブの建設のため工事費が増加しました。 ・学童保育システム導入のため委託料が増加しました。
成果	・利用者の申込数が比較的安定していたため、入会待機児童ゼロの維持ができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
今後も運営事業や維持管理事業の費用の軽減を工夫していきます。入会児童数の増加から、入退会や育成料徴収等の事務誤りのない業務標準を確立し、スムーズな事務処理ができるようにしていきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	児童数及び利用率ともに増加傾向にあるため、必要に応じて第2クラブの増設を検討します。また、放課後子ども教室との連携を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	296	課	子育て支援課	係	子育て支援係	起案者	廣野ちか子
						決裁者	神谷徹
事務事業名	児童センター事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 3 子育て支援 4 児童の健全育成 2 児童センター			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		15-10-25		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		2-2-3-4-2		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	安城市児童厚生施設の設置及び管理に関する条例						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体					
実施期間	開始	昭和58年度	経過	31年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	地域の子どもの居場所としての児童センターが整備され利用者が			~になる	安全に気持ちよく利用できるようになる。		
事務事業の内容	・来館者とのかわり（子育ての相談等） ・定期講座の開催（囲碁・将棋教室、卓球教室） ・親子参加行事の開催（乳幼児の親子対象） ・小中学生対象の行事の開催							
改善・対策の履歴	・毎月、児童センターのホームページを更新し、月の行事等の情報を掲載し、内容がわかるようにしています。また、小中学生の居場所作りとして、小中学生対象の行事内容の見直しをしたり、ボランティアや職業体験として行事への参加を呼びかけたりしています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	56,114	64,295	74,640	66,075	70,836
財源計	47,294	49,553	59,331	52,656	59,622
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	213	160	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	47,081	49,334	59,171	52,656
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	8,820 (1.40)	14,742 (2.34)	15,309 (2.43)	13,419 (2.13)	11,214 (1.78)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	行事の開催	見込	980.00	990.00	990.00	990.00
			実績	980.00	990.00	1,128.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,067	1,069	1,682	
			活動にかかるコスト (千円)	1.09	1.08	1.49	
活動2	活動名 (活動内容)	年間利用者数	見込	336,000.00	332,000.00	335,000.00	360,000.00
			実績	331,434.00	324,503.00	366,987.00	
	指標名 (単位)	人数(人)	活動の総事業費 (千円)	51,704	53,385	63,178	
			活動にかかるコスト (千円)	0.16	0.16	0.17	
活動3	活動名 (活動内容)	研修の実施	見込	5.00	5.00	0.00	5.00
			実績	5.00	5.00	5.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	464	454	379	
			活動にかかるコスト (千円)	92.80	90.80	75.80	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	児童センター設置数(か所)			目標	7.00	7.00	8.00	9.00
				実績	7.00	7.00	8.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	9.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	児童センター利用者数の増加(人)			目標	1.10	1.10	1.00	1.10
				実績	1.01	0.96	1.22	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・利用者のニーズに対応し、児童センター内の一角に水分補給ができるスペース等を作ることにより、利用者増につながりました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	児童センター内の事業を見直し、報償費の削減に努めました。 25年度は安祥児童センターが開所したため、そのためのコストは増加しました。
成果	安祥児童センターを平成25年4月に開設しました。 赤ちゃん触れ合い交流事業を積極的に進め、親子だけでなく、幅広い年齢層も関われるよう行事を考えました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
子育て支援センターとの連携を進めながら、それぞれのよさを活かし合い、よりよいセンター作りを進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	児童センターが整備されていない明祥中学校区について、福祉センターと併設する児童センターを整備していきます。 ニーズに合った行事内容を工夫し、利用者が気持ちよく利用できるように丁寧な対応を心掛けます。また、対象年齢別の行事を取り入れ、0～18歳の児童対象の施設である児童センター本来の特色を生かし、中高生の居場所づくりに取り組んでいきます。